

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	コミュニケーション論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	糸賀亜美	実務経験とその関連資格	病院で言語聴覚士として勤務			

《授業科目における学習内容》

グローバル化とIT化の波により、わたしたちのコミュニケーションは変化している。異国にいる外国人と、インターネットを介してコミュニケーションする。そんな場面ももはや当たり前となりつつある。とはいえ、コミュニケーションの基本はかわらない。そして、今、医療の現場では多職種連携が求められており、多職種の人と関わる力も必要となっている。本科目では、コミュニケーションの基本を押さえつつ、それを日々どう活かしていくか、自分の伝えたい事をどのように相手に理解してもらうかを学んでいく。

《成績評価の方法と基準》

出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院
看護コミュニケーション 医学書院
系統看護学講座 専門分野2 基礎看護技術I 医学書院
看護技術がみえる 臨床看護技術 ① メディックメディア

《授業外における学習方法》

配布資料、テキストを読み予習・復習を行う。グループワークによる調べ学習を行う。

《履修に当たっての留意点》

予習復習に取り組むこと。

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語を用いた対人コミュニケーションの基本について説明することができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	1.コミュニケーションとは 2.言語を用いた対人コミュニケーションの基本		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語以外の対人コミュニケーションについて説明することができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	3.言語以外の対人コミュニケーション 4.コミュニケーション力		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	異なる文化や言語を持つ人とのコミュニケーションの特徴について説明することができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	6.異なる文化や言語を持つ人とのコミュニケーションの特徴 7.インターネットのコミュニケーション		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療現場におけるコミュニケーションについて説明することができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	8.医療現場におけるコミュニケーション 9. リーダシップ・チームアプローチ		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	積極的に意見交換ができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループワーク① 10. 学びを日々のコミュニケーションにいかす 11.演習(グループワーク)		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	積極的に意見交換ができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループワーク② 10. 学びを日々のコミュニケーションにいかす 11. 演習(グループワーク)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	自分の役割を遂行し、発表準備することができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループワーク③ まとめ 発表準備		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	完結明瞭に聞き手に伝わる発表ができる	テキストや配布資料	科目の予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループワーク④ グループワークまとめ発表		